建通新聞　神奈川

2026年（令和８年）
11月12日木曜日

神測協が講師派遣
しポイント解説

都市整備技術C／スキルアップ研修

神奈川県都市整備技術センターは9日、技術職員向けの「スキルアップ研修」を開いた。県をはじめ市町村の土木系技術職員ら約50人が参加し、測量の基礎から先端技術への対応などについて幅広く学んだ＝写真。

冒頭、同技術センターの小林雅則氏は「近年、インフラ整備や維持管理の現場では、ＩＣＴをはじめ3次元測量の活用など測量技術を取り巻く環境が大きく変化している。そうした中、基礎となる測量技術をしっかりと理解し、実務に生かすことが重要。本日の研修を実のあるものにしてほしい」と述べた。



また、神奈川県測量設計業協会（神測協）の角田真吾副会長は講師を代表してあいさつ。「発注業務を担当している皆さんにとって、より実態に即した内容にしようということで、今年は研修の中身を大幅にブラッシュアップした。分からないことがあれば、遠慮なく質問してほしい」と語った。

この日は、測量の基礎からトータルステーション・レベルを使った測量実習、3次元点群データの活用などについて作業機関の立場から神測協の技術委員が詳しく解説。「平面を頭の中で3次元にする」「勾配は高さと水平距離で読む」など、プロの視点から測量技術の習得に欠かせないポイントを説明した。